

株式会社ヒロトミ建設さま

サステナビリティ経営への取組み



北洋銀行 ソリューション部

北海道共創パートナーズ コンサルティング事業部

ヒロトミ建設様が設定した目標・KPIは概ね順調に進捗しています。

環境面においては、GHG排出量の可視化をすすめており、2025年度には削減目標を設定する計画です。今後は設定した目標の達成に向け、GHG排出量削減の取組みを行っていきとヒアリングしています。

社会面においては、ICT重機の導入により、女性や高齢者も働きやすい環境整備をすすめています。また、各種研修の充実や完全週休二日の実現に向けた取組みなど、働き甲斐の向上や安心して働ける職場づくりを行ってまいります。

経済面においては、千歳市内工事の受注高が目標を上回り、インパクトの創出を確認しています。今後も地域インフラ工事の積極的な受注により、一層のポジティブインパクトの創出が期待されます。

SDGs達成とインパクトへの取組み

環境

- 2024年度は自社のGHG排出量が確認できる体制を構築しました。
2025年度にGHG排出量(Scope1・2)の削減量のKPI策定を予定しております。
- 2024年度はEV車両への切り替えを2台実施しました。
低排出ガス認定トラックへの切り替えや、環境配慮型原料の使用については、検討を継続してまいります。

【インパクトに基づく取組内容とKPI】

インパクト	取組内容	KPI実績	KPI目標
環境配慮型経営の推進	事業活動を通じたGHG排出量の削減	【2024年度実績】 可視化を開始 (2025年度に目標策定予定)	2025年度までに自社GHG排出量を可視化し、削減計画を策定する。その上で、計画に沿って削減を実行する。
		【2024年度実績】 2台	2030年度までにEV車両への切り替えを5台実施する。
		【2024年度実績】 なし (具体的な実施時期を検討中)	2030年度までに低排出ガス認定トラックへの切り替えを2台実施する。
		【2024年度実績】 進捗なし (検討中)	環境配慮型原料の使用検討に向けた委員会を発足し、2030年度までにGHG排出量削減に資する原料2種類以上の取り扱いを開始する。

社会

- 2024年度はICT重機を1台導入しました。
今後もICT重機への転換を進め、多様な雇用機会の創出に努めてまいります。
- 2024年度の週休二日の実施率は80%となりました。
工期や工程の工夫により、2025年度は完全週休二日の実現を目指してまいります。
- 引き続き、働き甲斐の向上や、ダイバーシティー&インクルージョンの推進に向けた取組みをすすめてまいります。

【インパクトに基づく取組内容とKPI】

インパクト	取組内容	KPI実績	KPI目標
やりがいと安心感がある職場環境づくり	人的資本経営の推進による働き甲斐の向上	【2024年度実績】 進捗なし (検討中)	2027年度までに従業員の能力や成果に応じた適切な人事評価制度・報酬体系に刷新する。
		【2024年度実績】 進捗なし (2025年度に実施予定)	2025年度までに若手作業員を対象とした業務マニュアルの策定や研修等の人材育成プログラムを刷新する。
	安心して働ける職場づくり	【2024年度実績】 実施率80%	2025年度までに週休二日制を導入する。
	女性の積極的採用を通じたダイバーシティー&インクルージョンの推進	【2024年度実績】 増減なし(3名)	2030年度までに女性従業員を5名とする。 (2024年9月時点：3名)
	ICT重機導入による女性や高齢者も重機操作可能な環境整備と多様な雇用機会の創出	【2024年度実績】 1台導入	2025年度までにICT重機を1台導入し、以後ICT重機への転換を進める。

経済

- 2024年度の千歳市内工事の受注高は200百万円となりました。
今後も千歳市内における道路や下水道工事等を積極的に受注し、地域インフラ整備に貢献してまいります。

【インパクトに基づく取組内容とKPI】

インパクト	取組内容	KPI実績	KPI目標
地域インフラ整備への貢献	千歳市内における道路や下水道工事等の積極受注	【2024年度実績】 200百万円	2027年度に千歳市内工事の受注高を100百万円以上にする。

